

ちょっと昔のおもしろ道具

「むかしの道具を見て聴いて触ってみよう」

4/6
(土)

**「お米の歴史は 3000 年
～お米にまつわる道具たち～」**



内 容 日本にお米が伝わったのは今から 3000 年ほど昔の縄文時代と言われています。このように長い歴史の中で食べられてきたお米ですが、お米は収穫するまでに 88 回もの手間がかかると言われ、そのため、日本人は米作りにさまざまな道具を開発してきました。収穫後も、そのまま食べることはできません。炊飯器が登場するまでご飯を炊くということは、朝早く起き、かまどに火をつけることから始まる仕事でした。今回は唐箕や千歯扱、羽釜やめしびつなど、日本人の主食であるお米を脱穀・精米する道具、炊く道具を紹介します。かまどのある旧桜井家住宅でお待ちしています。

日 時 令和 6 年 4 月 6 日 (土) 10:00～15:00

場 所 島田市博物館 分館

対 象 どなたでも参加大歓迎 (参加者多数の場合は少し待つていただく場合があります)

参加料 観覧料のみ (中学生以下は観覧料無料)

詳細はホームページをご覧ください。

〒427-0037 静岡県島田市河原 2 丁目 16 番 5 号 TEL・FAX (0547) 34-3216

島田市博物館分館